

様式1 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー

平成 27 年度建設副産物実態調査

灰色箇所は記入不要です。

表面

1.工事概要

発注機関名	宇部市上下水道局	発注機関コード*1	3 5 2 0 2	発注担当者チェック欄		請負会社名		加盟団体名コード*2		記入年月日	H. 年 月 日
				担当者		建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 (特 -) 知事 (般)	号		工事責任者	
				TEL	0836 - -	会社所在地		TEL FAX		調査票記入者	

工事名		事種別コード*3	-	請負金額	千百十 億 億 億 億 億 億 1万円未満四捨五入	左記金額のうち特定建設資材廃棄物の処理費用	千百十 億 億 億 億 億 億 1万円未満四捨五入	表面の建設廃棄物(建設発生を除く)の再資源化等に要した費用、及び再資源化の完了日を記入
工事施工場所	山口 都 道 宇部 市 区 府 県 町 村	住所コード*4	3 5 2 0 2	工期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで	0,000 円 (税込み)	0,000 円 (税込み)	再資源化等が完了した年月日
工事概要等	施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)				平成 年 月 日			

2.建設資材利用計画

注:コード*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

※住所情報は、国の政策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

建設資材 (新材を含む)				左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入してください)						再生資源	
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件	再生資材の供給元場所住所*	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	利用率
	コード*5		コード*6			コード*7	コード*8	住所コード*4	コード*9	(注1)	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン						トン	%
				トン						トン	%
	合計			トン						トン	%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン						トン	%
				トン						トン	%
	合計			トン						トン	%
その他の建設資材	木材			トン						トン	%
				トン						トン	%
	合計			トン						トン	%
	アスファルト混合物			トン						トン	%
				トン						トン	%
	合計			トン						トン	%
	土砂			締めm ³						締めm ³	%
				締めm ³						締めm ³	%
	合計			締めm ³						締めm ³	%
	砕石			m ³						m ³	%
			m ³						m ³	%	
合計			m ³						m ³	%	
塩化ビニル管・継手			kg						kg	%	
			kg						kg	%	
合計			kg						kg	%	
石膏ボード			トン						トン	%	
			トン						トン	%	
合計			トン						トン	%	
その他の建設資材			トン						トン	%	
			トン						トン	%	
合計			トン						トン	%	

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(新材骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他のCo再生骨材)
6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
7.無筋コンクリート二次製品 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン
5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土 5.浚渫土
6.土質改良土(土質改良プラントからの購入土) 7.建設汚泥処理土
8.再生コンクリート砂 9.山砂、山土などの新材(購入土、採取土)
砕石について
1.クラッシュアラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層 2.基層
3.上層路盤 4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用 6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他(具体的に記入)
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他(具体的に記入)
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用
4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入)

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
(土砂再資源化施設含む)
5.ストックヤード
6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.生コン(新材骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他のCo再生骨材)
6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
7.無筋コンクリート二次製品 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン
5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土 5.浚渫土
6.土質改良土(土質改良プラントからの購入土) 7.建設汚泥処理土
8.再生コンクリート砂 9.山砂、山土などの新材(購入土、採取土)
砕石について
1.クラッシュアラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

注1:再生資材利用量について
アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。

裏面にもご記入ください

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) ー建設副産物搬出工事用ー 平成27年度建設副産物実態調査

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出計画

※住所情報は、国の政策立案等において活用させていただきます。ので、番地までご記載願います。

灰色箇所は記入不要です。

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④	現場内利用・減量			現場外搬出について								再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)÷① (%)			
		②利用量	③減量化量	④現場外搬出量	搬出先名称	区分	施工条件の内容	搬出先住所	コード	運搬距離	搬出先の種類	⑤再生資源利用促進量(注2)				
場外搬出時の性状	用途コード*10	うち現場内改良分	減量法コード*11	3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	公共	民間	内容	〒	千	百	十	km	トン	トン	トン	
資材廃棄物																
※1 建設発生木材A	トン	トン	トン		搬出先1	公共	民間					km	トン	トン	トン	%
※2 建設発生木材B	トン	トン	トン		搬出先1	公共	民間					km	トン	トン	トン	%
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間					km	トン	トン	トン	%
金属くず	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
廃石膏ボード	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
紙くず	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
アスベスト(飛散性)	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
※3 混合状態の廃棄物	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1	公共	民間					km	トン		トン	%
建設発生土	地山m³	地山m³	地山m³		搬出先1	公共	民間					km	地山m³	地山m³	地山m³	%
建設発生土	地山m³	地山m³	地山m³		搬出先1	公共	民間					km	地山m³	地山m³	地山m³	%
建設発生土	地山m³	地山m³	地山m³		搬出先1	公共	民間					km	地山m³	地山m³	地山m³	%
建設発生土	地山m³	地山m³	地山m³		搬出先1	公共	民間					km	地山m³	地山m³	地山m³	%
※4 浚渫土	地山m³	地山m³	地山m³		搬出先1	公共	民間					km	地山m³	地山m³	地山m³	%
合計	地山m³	地山m³	地山m³										地山m³	地山m³	地山m³	%

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(サマールリサイクル)
5.再資源化施設(合材プラント以外の再生資源化施設)
6.中間処理施設(単純焼却)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
10.その他の処分

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント(再生利用先工事が決定)
5.土質改良プラント(再生利用先工事が未決定)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定)
7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
12.建設発生土受入地(公共事業の土捨場)
13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨場・残土処分場)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類(コード*13)が1.~6.の合計

※1 柱、ボードなどの木材資材が廃棄物となったもの
※2 立木、除根材などが廃棄物となったもの
※3 建設混合廃棄物
※4 建設汚泥を除く

場外搬出量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい